

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成24年5月22日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

### 発 表 事 項

1. 山形大学・山形県による土壌環境放射性物質の共同調査実施
2. 企業18社が参画した新しい産学連携システム「ナノメタルスクール」発足
3. 一般財団法人電力中央研究所と共同研究契約を締結
4. 「高校生朗読コンクール」出場者募集
5. クラゲマイスター養成講座(初級)の開催

### お 知 ら せ

1. 平成24年度山形大学公開講座等のご案内

### (参 考)

次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成24年6月5日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成24年5月22日  
山形大学

## 山形大学・山形県による土壌環境放射性物質の共同調査実施

山形大学は、山形県と共同で、土壌環境放射性物質の調査を実施します。

### 背景

3.11の東日本大震災による福島第一原発事故により放出された放射性物質は、山形県にも飛来し、降下沈着していることは、山形県等の調査で明らかです。

山形県は福島県に比べれば、原発事故の影響が比較的小さかったことが、放射線モニターのデータから分かります。

しかし、県内における放射性物質の沈着状況の基礎データを押さえておくことは、今後の山形県の環境を考える上で重要なことであると考えます。

そこで山形大学は、山形県と共同で土壌環境放射性物質の分布状況の調査を行うことにしました。

### 調査期間

平成24年度及び平成25年度の2年間

### 調査方法

基本的には県内を5キロメッシュに区切り、土壌サンプリングを行って測定分析します。

山形県が土壌サンプリングを担当し、山形大学が主に土壌サンプルの測定分析を行います。

最終的には山形県の放射性物質の沈着マップを作成します。

(お問い合わせ)  
山形大学 理学部 教授 櫻井 敬久  
電話：023(628)4553

平成 24 年 5 月 22 日  
山 形 大 学国内企業 18 社が参画した新しい産学連携システム  
「ナノメタルスクール」の発足

山形大学の出願特許技術である「室温～100℃以下で焼結する超低温焼成銀ナノ微粒子の革新的製造技術」を用いたプリントドエレクトロニクスの産業化を加速する新しい産学連携システムがスタートしました。

次の我が国の産業基盤として、「プリントドエレクトロニクス(PE)」の実現に大きな期待が寄せられています。PE はフレキシブル性が高い特に有機基板に印刷によって回路(パターンング)・素子形成を行う技術の総称ですが、この実現により、エレクトロニクス製品などの製造工程が劇的に簡便・時間短縮化されると同時に、更なる省資源・省エネルギーも達成できます。PE はグリーン・イノベーションの推進に繋がる国の重点課題であり、その電極形成用基盤材料が銀ナノ微粒子とこれが溶剤に分散したインク/ペーストです。

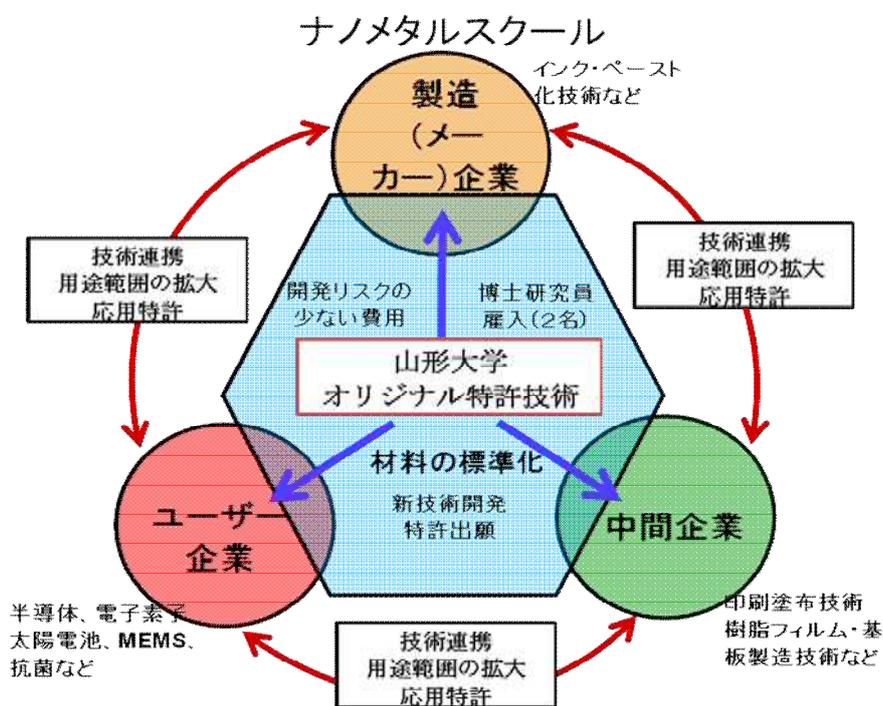
太陽電池、ディスプレイ、ソリッドステート照明、IC タグやセンサなどの電子機器を始め、グリーン・イノベーションの一角を支える次世代の「有機エレクトロニクス」や「フレキシブルエレクトロニクス」製品開発においても、高性能銀ナノインク/ペーストへの産業界からの要望は国内外問わず益々高まっています。また、その開発と実用化は熾烈な国際競争になっています。

山形大学理学部栗原研究室では、低炭素化・省資源・省エネルギーへの技術革新(=グリーン・イノベーション)に当たって、機能性ナノ微粒子の合成技術での貢献を目指しており、「産業界に提案できる低炭素化ものづくり」として、有機反応溶媒(殊に化石燃料由来の不再生溶媒)の排除を研究室レベルから追求した「ものづくり」を実践しています。

このほど、山形大学の出願特許技術として、「シュウ酸架橋銀アルキルアミン錯体の自己熱分解法」の発明と、これに基づく高性能・高純度銀ナノ微粒子の低炭素化・高収率・安価・簡便・大量合成できる汎用性の高い革新的製造技術の提供が可能になりました。併せて、作製された銀ナノ微粒子は、従来の性能を大きく凌駕する室温～100℃以下で低温焼成可能な「第二世代の銀ナノ微粒子」です。更に、実用化段階であるこうした先端材料のナノ微粒子は、ここにきて「大量合成法」の獲得が課題として顕在化していましたが、これを解決できる合成法として、「シュウ酸架橋銀アルキルアミン錯体の自己熱

分解法」を提案しました。

上記の背景を受けてこのほどスタートしたのが国内企業 18 社を結集した「ナノメタルスクール」です。図に示したように、銀ナノ微粒子に関する山形大学の出願特許技術を基盤とし、これまでの国内の大学や研究所では例をみない新しい産学連携システムとして、本年 4 月 17 日に参画企業 18 社が一同に会し、「ナノメタルスクール」発足会が開かれました。発足会では、山形大学・結城学長の挨拶により、「ナノメタルスクール」は、山形大学が全面支援する事業、「結城プラン 2012」・「社会連携の基本方針」プラン 3 に掲げた「同一研究テーマについて、複数の民間企業等との連携により研究を促進する新たな産学連携システムの構築」に基づくものであることが説明されました。また、坂本理学部長からは、産学で主導するこの新しい「ナノメタルスクール」のシステムを活用することで、日本の産業が活性化されるように、参画企業 18 社への理解と協力が求められました。



図．ナノメタルスクールの仕組みの模式図．

(お問い合わせ)

山形大学理学部 教授 栗原 正人

電話：023(628)4606

平成24年5月22日

山形大学

## 山形大学と一般財団法人電力中央研究所の共同研究 巨大地震と巨大津波に対する共同研究を開始

山形大学は、一般財団法人電力中央研究所と共同研究契約を締結し、巨大地震と巨大津波に対する共同研究を開始しました。

### 目的

泥火山や津波堆積物からの土壌および炭化物の放射線炭素年代を高感度に測定し、過去に起きたマグニチュード7を超える巨大地震や巨大津波の歴史と周期性の関係を紐解き、巨大地震・津波に対する「備え」に活かすことを目的に、共同研究を開始しました。

### 内容

泥火山、および津波堆積物柱状試料について、電力中央研究所が採取した試料を、山形大学において、共同で不純物の除去のための薬品処理、炭素の抽出等の前処理を行います。続いて、山形大学高感度加速器質量分析センターにおいて、試料の形成年代を測定します。

### 期待される効果

高感度加速器質量分析法により、泥火山や津波堆積物由来の試料に対する放射線炭素年代を測定することで、巨大地震および巨大津波の周期性とその因果関係に関する科学データを提供し、将来の地震防災や津波浸水予測に大きく貢献することが期待されます。

\* 山形大学高感度加速器質量分析センターは、高感度加速器質量分析装置（AMS）を運用する組織として、平成23年2月に上山市にある山形大学総合研究所に設置されました。

（お問い合わせ）  
山形大学高感度加速器質量分析センター  
センター長 門叶 冬樹  
電話：023（628）4554  
電力中央研究所 地球工学研究所  
主任 中田 英二、主任 佐々木 俊法  
電話：04（7182）1181



### 泥火山噴出物に挟まれる炭化物

泥が噴出したときに取り込まれた草木が点在している。加速器を用いた年代測定により、泥が噴出した年代を明らかにし、地質現象との関係を推察する。



### 泥火山噴出孔

泥と一緒に、深部からメタンガスが湧出している。

平成24年5月22日  
山形大学

## 「高校生朗読コンクール」出場者募集

山形大学では高校生朗読コンクール「いま、言葉を東北の灯(ともしび)に」を開催します。

山形大学が主催する高校生朗読コンクールは過去4回、山形県出身の作家藤沢周平さんと井上ひさしさんの作品を課題に実施してきました。

第5回を迎える今回からは、東北地方全体に視野を広げ、東北地方出身の作家・東北を描いた作品を課題として取り上げようと考えています。東北を描いたすぐれた文学的文章にふれることで、東北の未来を考えていこうとする試みにほかなりません。

今回は青森県出身の作家太宰治が太平洋戦争のさなか帰郷した経験をもとに書いた『津軽』を課題文としました。故郷に対する深く複雑な思いを独特の言い回しで綴った名作です。

まず予選を録音審査の形で実施し、学内の教員等で構成する審査委員会の審査によって本選出場者を決定します。

### 予 選

応募資格：東北6県在住の高校生。または東北6県の高校に在学する高校生。  
高等専門学校生は1年から3年までのみ。

予選課題文：太宰治『津軽』

37頁13行目「こんど津軽へ出掛けるに当って、心にきめた事が一つあった。」より  
41頁1行目「しまった!」と思って、はっと夢から醒める事があります」まで。

予選応募締切：平成24年7月27日(金)(郵送の場合は当日消印有効)

### 本 選

日 時：平成24年9月16日(日)13:00~17:00(予定)

会 場：シベールアリーナ(山形市蔵王松ヶ丘2-1-3)

本選での課題：太宰治『津軽』から、予選通過者それぞれに異なる部分を審査委員会が指定します。

本選当日は、女優紺野美沙子さんと山形市民、山形の子どもたち、山形大学生による宮沢賢治原作「風の又三郎」群読劇の上演と同時に開催します。

2008、2009年と山形大学特別プロジェクト「藤沢周平の山形」の一環として朗読コンクールを実施しました。一昨年と昨年は、井上ひさし氏の「吉里吉里人」(2010年)、「イソップ株式会社」(2011年)をテーマに実施しています。

(お問い合わせ)

山形大学渉外部渉外課

(TEL) 023-628-4016

第5回

# 山形大学 高校生朗読 コンクール

## 第5回 山形大学高校生朗読コンクール

山形大学特別プロジェクト  
「いま、言葉を東北の灯に」

平成24年9月16日(日)13:00~17:00(時刻は予定)

### 出場資格

東北6県(青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島)在住の高校生、または各県内の高校に在学中の高校生。  
・高等専門学校生は一年生から三年生までのみとします。同一高校からの応募人数制限は特に設けません。

### 予選応募締切

平成24年7月27日(金)(当日消印有効)

東北6県の  
高校生から  
出場者を  
募集します

あの日から一年と少しが過ぎました。いま、東北の私たちは悲しみを胸に抱きつつ、少しずつ明日に向かって歩みはじめています。

山形大学が主催する高校生朗読コンクールは過去四回、山形県出身の作家藤沢周平さんと井上ひさしさんの作品を課題に実施してきました。

第五回を迎える今回からは、東北地方全体に視野を広げ、東北地方出身の作家・東北を描いた作品を課題として取り上げようと考えています。東北を描いたすぐれた文学的文章にふれることで、東北の未来を考えていこうとする試みにほかなりません。

今回は青森県出身の作家太宰治が太平洋戦争のさなか帰郷した経

験をもとに書いた『津軽』を課題文としました。故郷に対する深く複雑な思いを独特の言い回しで綴った名作です。

また、9月16日(日)に山形市のシベールアリーナで開催する朗読コンクール本選では、高校生の皆さんの朗読とあわせて、岩手県出身の宮沢賢治の『風の又三郎』を題材とした群読劇を山形大学生や東北の市民の皆さんの参加を得て上演する計画を進めています。コンクールが世代を超えた交流の場となることを願うことです。

さあ、予選が始まります。高校生の皆さんの多くの応募をお待ちしています。

山形大学は東北の明日を担う若い皆さんを応援します。

東北6県の  
高校生から  
出場者を  
募集します

主催：国立大学法人山形大学 共催：公益財団法人 弦地域文化支援財団

山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯に」

第5回

# 山形大学高校生朗読コンクール

山形大学では本年9月16日(日)に、山形市のシベールアリーナを会場として、第5回高校生朗読コンクールを開催します。  
東北6県の高校生の皆さんの多数の応募をお待ちしております。

## ◎予選募集要項

### 出場資格

東北6県(青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島)在住の高校生、または各県内の高校に在学中の高校生。  
・高等専門学校生は一年生から三年生までのみとします。同一高校からの応募人数制限は特に設けません。

### 予選課題

太宰治『津軽』(頁数は現行の新潮文庫版にもとづく)  
37頁13行目「こんど津軽へ出掛けるに当って、心にきめた事が一つあった。」より  
41頁1行目「しまった! と思って、はっと夢から醒める事があります」まで

### 審査方法

録音による審査。

### 応募方法

上記課題文を朗読・録音し、下記応募受付まで郵送等で送付、あるいは直接持参をお願いします。  
・録音メディアは、MD/CD-R/USBメモリーのいずれかとなります。メディアには氏名を明記してください。  
・メディアは衝撃からの保護を施して、「高校生朗読コンクール応募」と朱書した封筒に入れてください。

応募の際、以下の項目について記した紙を同封してください。書式は自由です。

- ① 氏名(よみがな) ② 性別 ③ 学校名、学年 ④ 自宅住所 ⑤ 自宅電話番号  
⑥ 携帯電話番号 ⑦ 電子メールアドレス(携帯・パソコンいずれでも可)  
⑧ (高校で取りまとめてご応募の場合)担当教員のお名前と電話・ファクス・電子メールアドレス等

※⑥・⑦は必須ではありません。記載情報は本学からの連絡のみに用い、他の目的には用いません。

※予選の録音メディアの費用及び郵送料は自己負担とします。

※予選で大学に送付されたメディアは返却せず、本選後録音を消去します。

※予選は本学の教職員で構成した審査委員会が審査を行い、結果は全応募者に8月10日ごろご自宅に郵送でお知らせします  
(学校でとりまとめて応募いただいた場合は、学校にも結果をお知らせします)。

※予選通過者を優秀賞(入賞)として本選に招待します。なお、予選通過者名を入賞者として公表します。

※文章中の地名や人名等の固有名詞の難読語等の読み方に限り問合せに応じます。

### 予選応募締切

平成24年7月27日(金)(当日消印有効)

## ◎本選について

### 日時

平成24年9月16日(日) 13:00~17:00(時刻は予定)

### 会場

シベールアリーナ 〒990-2338 山形市蔵王松ヶ丘二丁目1番3号

### 課題

太宰治『津軽』から、予選通過者それぞれに異なる部分を審査委員会が指定します。

※審査結果通知時にそれぞれの課題部分を指定します。

※作品の内容や量による審査の有利不利は起きないように審査の際に配慮します。

※本選の審査は、学内外のメンバーで構成した審査委員会が行います。

※出場者には本学規定により交通費(県外の方は宿泊費も)を支給します。

※本選の上位3名を山形大学学長賞として表彰します。他に特別賞・会場賞も設けます。

※優秀賞も含め各賞には賞状・記念品を贈呈します。

※本選は宮沢賢治「風の又三郎」を題材とした群読劇の上演とあわせて催しとして一般公開します(詳細は7月ごろ公表予定)。

### 応募・お問合せ先

山形大学 渉外部渉外課 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL: 023-628-4016(※電話によるお問合せは平日9:00~17:00にお願いします) FAX: 023-628-4849 E-mail: k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# 群読劇出演児童 (小学校高学年の男子5名) を募集します

山形大学では復興に向けた東北の力を舞台芸術で結集する試みとして、2012年9月16日(日)、シベールアリーナ(山形市蔵王松ヶ丘2丁目1-3)を会場に、東北の大地に根ざした宮沢賢治の名作『風の又三郎』をモチーフにした群読劇(集団での朗読を主体にした舞台)の上演を計画しています。

主演には女優の紺野美沙子氏をお招きし、一般市民の皆様、山形大学学生、子どもたちとともに東北を応援する舞台を作っていきます。

この群読劇で又三郎とその友だちの役でご出演くださる小学校高学年男子を募集します。

**参加資格:**本番と、原則として稽古の全日程(下記参照)に参加可能な方

演劇や朗読の経験の有無等はいっさい問いません。

**募集人数:**小学校4年生から6年生までの男子 5名

**費用負担等:**稽古・上演にかかる経費等の負担を出演者をお願いすることはありません。

出演料等はお支払いいたしません。

稽古場・劇場への送迎は保護者の方をお願いいたします。

**ご連絡先:**山形大学 基盤教育院 教授 山本陽史(やまもと・はるふみ)

電話 090-6132-1198

**募集開始日時:**2012年5月25日(金) 午前8時半

(先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります)

**催し物概要・稽古等日程:**

主催:国立大学法人山形大学

共催:弦地域文化支援財団

演出:佐藤正文氏(演出家、酒田市出身)

出演:紺野美沙子氏(朗読座)、一般市民、山形大学生、山形の子どもたち等約50名

日程:(現在稽古場を確保している時間帯です。出演決定後各ご家庭のご都合等を伺い、お子様の疲労などにも配慮して稽古時間を再調整します)

・稽古

6月20日(水) 18:00~21:00 山形大学小白川キャンパス  
基盤教育1号館122教室

7月18日(水) 18:00~21:00 山形大学小白川キャンパス

7月31日(火) 13:00~17:00 ゆうキャンパスステーション

18:00~21:00 山形大学小白川キャンパス

8月1日(水) 13:00~17:00 ゆうキャンパスステーション

山形大学に変更の可能性あり

18:00~21:00 山形大学小白川キャンパス

8月2日(木) 13:00~21:00 会場:シベールアリーナ

9月10日(月) 午後・夜 会場:シベールアリーナ

9月11日(火) 午後・夜 会場:シベールアリーナ

9月15日(土) 午後 会場:シベールアリーナ

・本番 9月16日(日) 午前リハーサル・午後本番 会場:シベールアリーナ  
第5回山形大学高校生朗読コンクールと併せて開催予定

平成24年5月22日  
山形大学

## クラゲマイスター養成講座(初級)開催

やまがた『科学の花咲く』プロジェクト・科学の花咲かせ隊養成講座  
クラゲマイスター養成講座(初級)のご案内

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトは、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の支援により、山形大学が山形県、県内関係機関とともに地域の科学舎推進事業「地域ネットワーク支援」として、平成21年度から3年間行ってきました。今年度も大学や県などで継続して事業を進め、地域や家庭で科学の不思議さや面白さ、科学技術を伝える講師や補助者になっていただくための指導者養成講座を開講します。

6月9日から開講する月山マイスター養成講座に続き、**クラゲマイスター養成講座**を以下のとおり開講します。

平成24年7月7日(土)・8日(日)両日とも10:00～16:00 鶴岡市加茂水族館にて

講座内容：展示の様子などを見学、カギノテクラゲの刺傷被害の症例、

海での安全な採取方法について、クラゲの展示方法、水槽の組み立てなど 等

平成24年8月18日(土) 9:00～16:00 イオンモール三川にて

講座内容：準備および実施指導、ショッピングセンターで指導者として実施

申込締切：平成24年6月15日(金)

定員：15名(応募者多数の場合は選考させていただきます。)

受講料：無料

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

(お問い合わせ)

SCITAセンター

電話：023(628)4517

# 第3期 クラゲマイスター 養成講座(初級)のご案内

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、科学が文化として地域社会に根付くよう県内各地域、各分野の大学、科学館、研究機関、教育関係者などの連携により、サイエンス・コミュニケーター養成をすすめています。地域や家族での「科学遊び」など、身近な科学コミュニケーションの活発化をすすめ、科学への関心が低い人も興味を持ち、地域全体で、誰もが科学に触れて楽しめる環境づくりをすすめています。

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、地域や家庭で科学の不思議や面白さ、科学技術を伝える講師や補助者になって頂くための指導者（クラゲマイスター）養成講座を下記の通り開講します。

日時・場所	講座名	講座内容
平成24年 7月7日(土) 10:00~16:00  7月8日(日) 10:00~16:00  鶴岡市加茂水族館 (鶴岡市今泉字大久保656)	プロジェクトについて	プロジェクト説明
	クラゲ展示見学	展示の様子などを見学
	加茂水族館のクラゲ展示の取り組みについて	クラゲ展示法のノウハウなど
	クラゲ学習会	クラゲに関する基礎講座
	クラゲに対する安全講座	カギノテクラゲの刺傷被害の症例
	安全講座	海での安全な採取方法について
	クラゲ採集	カギノテクラゲの採集(実際に海に行きクラゲを採取)
	クラゲ輸送法	ほかの場所で飼育や展示をするための輸送法
	クラゲの展示法	クラゲの展示方法、水槽の組み立てなど
	実験指導講座	子供の発達に合わせた指導法及び注意点
クラゲの説明実習	クラゲについて実際に説明するための実施訓練等	
8月18日(土) 9:00~16:00 イオンモール三川 (山形県東田川郡三川町 大字猪子字和田庫128-1)	実験指導実施講座	準備および実施指導、 ショッピングセンターで 指導者として実施



- 受講料/無料
- 申込方法/裏面受講申込書により申し込んでください。
- 締切/平成24年6月15日(金)
- 定員/15名(応募者多数の場合には選考させていただきます)

**受講無料  
定員15名**

お問い合わせ先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://mirai.scita.jp/~chiiki/> 担当: 菅原・伊藤・佐藤

第3期 クラゲマイスター 養成講座(初級)  
受講申込書

氏名	(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
			〒  TEL (        )        - FAX (        )        - E-mail
応募動機に関して			

※ 傷害保険（プロジェクト事務局負担）に加入しますので、所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずお書きください。



申込  
締切

平成24年 6月15日(金)

お  
申  
し  
込  
み  
先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX(023)628-4517

E-mail: kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP: <http://mirai.scita.jp/~chiiki/> 担当: 菅原・伊藤・佐藤

# プレス通知資料（概要）

---



平成24年5月22日  
山形大学

## 1. 『平成24年度あなたと山形大学を結ぶインフォメーション』発行

（概要）山形大学では、今年度を実施を予定している「市民向け講座」「子ども向けプログラム」「大学開放プログラム」などを掲載した、案内冊子を発行しました。

みなさんに、興味、関心を持って参加していただけるように、それぞれの学部等の特色を活かした講座等を企画しています。

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

問い合わせ：山形大学企画部研究支援課

(TEL) 023 - 628 - 4845、4846

平成24年度

# あなたと山形大学を結ぶ インフォメーション

公開講座・大学開放  
プログラム  
などのご案内



山形大学  
YAMAGATA UNIVERSITY

# 平成24年度 山形大学公開講座実施一覧

問い合わせ先一覧は裏表紙をご覧ください

講座名	開催期間	開催場所	受講対象者/定員	受講料	お問い合わせ
イメージの詩学 —ヨーロッパを解く—	平成24年6月11日、14日、18日、 21日、25日(月曜・木曜5回) 18:30～20:10	人文学部講義室 (小白川キャンパス)	一般・大学生・高校生 30名	2,000円 (高校生・大学生は無料)	1
私たちの暮らしと経済	平成24年9月～10月の 5日間(曜日未定) 18:30～20:10	人文学部講義室 (小白川キャンパス)	一般・大学生・高校生 30名	2,000円 (高校生・大学生は無料)	1
社会調査でみる山形県民の 暮らしと社会	平成24年9月21日(金)、 28日(金) 18:30～20:00	地域教育文化学部 (小白川キャンパス)	一般 30名	1,000円	2
銅版画の技法と表現	平成24年9月1日、8日、15日 (毎週土曜日) 13:00～17:00	地域教育文化学部 (小白川キャンパス)	一般 15名	3,500円	2
家族で考える理科教室	平成24年10月6日、13日 20日、27日(毎週土曜日) 13:30～15:30	地域教育文化学部 (小白川キャンパス)	小学3年生以上の 児童・生徒と その家族 20組	2,000円	2
楽しい数学	八峰祭の土曜日、日曜日の午後 (各2講義)	理学部先端科学実験棟 (小白川キャンパス)	一般・高校生 50名	1,000円 (高校生は500円)	3
がん～治療とケアの最前線～	平成24年10月6日(土) 13:00～17:00	医学部 大講義室 (飯田キャンパス)	医師、看護師、 薬剤師、医療事務 100名	4,000円	9
米沢と山大工学部 —地域と大学の共生—	平成24年5月9日～7月25日 (毎週水曜日) 計12回 18:00～19:30	工学部4号館 (米沢キャンパス)	どなたでも 受講できます 80名	無料	24
これからのエネルギー社会 について	平成24年8月3日(金) 13:00～16:30	工学部 (米沢キャンパス)	一般・高校生 100名	無料	11
やわらかなコンピューティング ～ 視る、聞く、訳す、使う～	平成24年8月3日(金) 13:00～16:00	百周年記念会館 セミナー室 (米沢キャンパス)	企業、学生、 高校生など、 興味のある皆様 50名	無料	11
身近な生物を探る —土・微生物・植物の世界—	平成24年7月7日、14日、 21日、28日(毎週土曜日) 13:00～16:00	農学部 (鶴岡キャンパス)	一般 25名	2,000円	14
学校保健に関連しての話題提供	平成24年11月6日(火) 18:00～20:00	基盤教育2号館 (小白川キャンパス)	一般・学生 100名	無料	19
掛け軸のいろは -Part 2-	平成24年10月27日、 11月3日、10日 (毎週土曜日) 13:30～17:00	附属博物館 (小白川キャンパス)	一般 30名	2,000円	18
石に刻まれた日本の歴史 —山形大学小白川図書館所蔵・ 石碑拓本の世界—	平成24年10月6日(土)、 13日(土) 13:30～16:00	小白川図書館 (小白川キャンパス)	一般・大学生・高校生 30名	1,500円 (高校生・大学生は無料)	17
親子わくわくワークショップ	平成24年7月21日(土) 10:00～11:30	附属小学校 (松波地区)	園児・小学生 の親子 50組	500円 (親子一組につき)	20

講座名	開催期間	開催場所	受講対象者/定員	受講料	お問い合わせ
親子で楽しむ秋の星座	平成 24 年 9 月 8 日 (土) 18:30 ~	附属中学校 (松波地区)	中学生以下の親子 150 名	500 円 (一家族につき)	21
すこやか広場	【第 1 回】 「お友達、こんにちは」	附属幼稚園 (松波地区)	2~3 歳児親子 50 組	200 円 (親子一組につき)	22
	【第 2 回】 「親子でべたべた、 まぜまぜしよう」		2~3 歳児親子 50 組		
	【第 3 回】 「お兄さんお姉さんと いっしょに遊ぼう」		2~3 歳児親子 20 組		

## 子ども向けプログラム一覧

講座名	開催期間	開催場所	受講対象者/定員	受講料	お問い合わせ
日本学術振興会プログラム ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~ 親子で楽しむ動物学 一親いてみよう身近でつづく動物のいとなみ	平成 24 年 8 月 5 日 (日)	理学部 SCITA センター (小白川キャンパス)	小学 4~6 年生と その保護者 20 組	無料	3
小さな科学者・体験学習会 「わくわく化学実験ランド」	平成 24 年 8 月上旬予定	理学部 SCITA センター (小白川キャンパス)	小学 4 ~ 6 年生と その保護者 10 組	無料	3
科学フェスティバル in よねざわ 2012	平成 24 年 7 月 28 日 (土)、29 日 (日)	工学部 (米沢キャンパス)	小学生・中学生 (申込不要)	無料	13
森の学校	平成 24 年 7 月 ~平成 25 年 3 月	農学部附属やまがた フィールド科学センター (上名川演習林)	小学 3 年生以上	500 円 (各回)	15
農業体験 「わんぱく農業クラブ」	平成 24 年 5 月~11 月	農学部附属やまがた フィールド科学センター (高坂農場)	小学 3~6 年生 の親子	無料	15
収穫体験 「大学農場に行こう」	平成 24 年 9 月~10 月	農学部附属やまがた フィールド科学センター (高坂農場)	幼稚園・保育園児等 (団体単位とさせていただきます)	無料 (農作物を収穫した 場合は実費分)	15
山形県産業科学館 「発明工房」 小さな科学者・体験学習会 「光の不思議」	平成 24 年 7 月 22 日 (日)	山形県産業科学館 4 階発明工房 (山形市霞城セントラル内)	小学 4 年生~ 中学生と その保護者 20 組	無料	23

## その他の大学開放プログラム

講座名	開催期間	開催場所	受講対象者/定員	受講料	お問い合わせ
第10回 山形大学と高等学校の 数学教員の研究交流会	平成24年9月下旬	理学部 (小白川キャンパス)	山形県内の 高等学校数学教員と 山形大学の主に数学教員	無料	5
教師未来塾	平成24年5～7月と10～12月の 第2と第4金曜日 (7月と12月は第2と第3金曜日 となる予定)	理学部 (小白川キャンパス)	山形大学の教員志望学生 (3年生以上) 及び県内の 小・中・高教員	無料	6
サイエンス・ サマースクール in やまがた	平成24年8月中旬予定	理学部 (小白川キャンパス)	高校生	無料	3
街角で月を	平成24年5月9日(水) 19:00～21:00 (雨天の場合中止)	文翔館裏庭 (山形市)	一般	無料	7
金環日食の楽しみ方 ～安全に楽しく～	平成24年4月21日(土) 及び5月12日(土)	理学部 (小白川キャンパス)	一般	無料	7

## 一般公開施設

施設名	公開日	場 所	入場料 等	その他	お問い合わせ		
やまがた天文台	一般公開：毎週土曜日 4～9月 19:00～21:15 10～3月 18:00～20:15	理学部 (小白川キャンパス)	小学生以上200円	※小さな天文学者の会の会員は無料	8		
4次元宇宙シアター	毎月最終土曜日 4～9月 1回目 19:15～ 2回目 20:15～ 10～3月 1回目 18:15～ 2回目 19:15～	理学部 (小白川キャンパス)	小中学生300円 高校生以上500円 ※小さな天文学者の会の 会員は200円引き	・小学4年生以上対象 ・事前予約制 ・上映時間は30分です	8		
山形大学 SCITA センター	月曜～金曜 10:00～16:45 (祝・祭日を除く)	小白川キャンパス 理学部1号館1階	無料	事前予約制	4		
附属博物館	月曜～金曜 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)	小白川キャンパス 小白川図書館3階	入館無料	図書館1階で 博物館利用の旨を お伝えください。	18		
附属 図書 館	小白川図書館	平日 8:45～21:00 土・日・祝日 11:00～18:00	入館無料 (一部サービスは 有料となります)	県内在住の方等は、 図書の貸出しも 可能です。 学生休業期間は 開館時間が 異なります。	17		
	医学部図書館 (医学関係専門図書館)	平日 8:45～21:00 土・日・祝日 10:00～17:00				飯田キャンパス	10
	工学部図書館 (工学関係専門図書館)	平日 8:45～22:00 土曜日 9:00～17:00 日・祝日 13:00～17:00				米沢キャンパス	12
	農学部図書館 (農学関係専門図書館)	平日 8:45～21:00 土・日・祝日 10:00～17:00				鶴岡キャンパス	16

# 各講座・プログラムの概要

## 公開講座

### ◆イメージの詩学 —— ヨーロッパを解く

今年度の人文学部の夏の講座では絵画や写真、風景などの「イメージ」を取り上げ、講師陣に様々な方向から自在に語ってもらい、受講者の方々にも考えていただく時間にしたいと思います。扱う時代はルネサンスから現代まで。場所はイタリア、オランダ、イギリス、ロシア、フランスと多岐に渡ります。芸術家の名を挙げれば、フェルメール、ボッティチェリ、ホガース、マレーヴィチ、マン・レイなどを俎上に載せる予定です。有名な絵から珍しい図像まで、絵解き・謎解きを存分にお楽しみください。イメージと詩のせめぎ合いを通して、ヨーロッパ文化の多様性と奥深さを浮き彫りにできれば幸い。謎解きは絵画鑑賞の後で…。

### ◆私たちの暮らしと経済

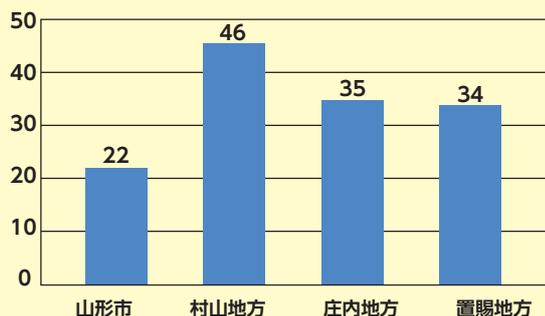
日々の暮らしの中で私たちが直面するさまざまな問題は、日本や世界の経済の動きと密接に関連しています。例えば消費税増税の問題は、日本の少子高齢化や財政赤字の拡大という状況と関係しています。また雇用の先行き不安は、日本の国際競争力の低下や歴史的な円高と結びついています。

この講座では、私たちが暮らしの中で直面する具体的な経済に関わる問題を素材に、それがどのように日本や世界の経済の動きと結びついているのかを解説し、問題が生じる理由や解決策についてどのように考えていけば良いかを学びます。

### ◆社会調査でみる山形県民の暮らしと社会

近年、少子高齢化が進む中で、すべての人々が安心して暮らせる地域づくりが求められています。このような時代に、私たちが暮らす山形県には、人々の暮らし向き、地域づきあいや地域活動、社会に対する考え方にどのような特徴があるのでしょうか。この講座では、アンケート調査のデータを通して、全国の他地域との比較も取り入れながら、山形県における人々の生活や地域社会の現状を捉え、地域づくりに向けた課題について考えていきます。

近所の人とお茶や食事を一緒にする割合 (%)



### ◆銅版画の技法と表現

版画は、紙に刷られることからくる受け渡しや記録や保存の簡便性と廉価性のために、日常生活に最も近いところある美術であると言えます。現在、その伝達への意志は個々人の生存へ欲求、存在意義と在り様の帰属意識の保持に関わるものとして生き続けています。

この講座では、銅版画をみるときに必要な基礎知識としての技法と名称、基礎的な制作過程と用具、それによって得られる表現効果の特徴や違いなどを紹介し、技法の起源と歴史をその変遷にそって概説します。実際の作品を鑑賞しながら、版種による表現の違いと魅力を体感し、実際の制作体験を通じて版画の魅力に触れてみませんか。

### ◆家族で考える理科教室

21世紀は「知識基盤社会」と言われています。「知識基盤社会」では「見えないものを見ることができる『自然科学の方法』」が重要視されています。

本講座は、いつも目にふれているため、当然と考えていて、改めて「どうしてそうなるの?」「どうしてそう考えるの?」と問われると「あれ、どうしてだっけ?」と、戸惑ってしまう日常的現象を取り上げ、その現象の「しくみを解く」ための観察や実験方法を考え、観察や実験を行い、そして結果を考察するという「科学的探究の過程」を、家族で体験し、家族で「自然科学の方法」を実感してもらうことがねらいです。



### ◆楽しい数学

今、数学書が密かに売れているようです。「数学ブーム」の到来を実感する機会が増えています。新聞、雑誌、テレビ等の報道によれば、教育機関等で学生が学ぶ教科のためとしての数学書のみではなく、一般書としての売り上げが伸びているのだそうです。今年度の理学部公開講座では、数学により深く興味をもつきっかけとなるような講義を行います。研究室公開も行う予定です。

## ◆がん ～治療とケアの最前線～

がん治療の最新の情報を提供します。薬物療法・放射線療法の治療法に関する最新の話題は勿論の事、がん治療におけるがん登録の重要性、最近重要視されている緩和ケア、特に在宅緩和ケアに関する現状と課題、今後の取り組みについて解説する事で、がん治療における問題意識の共有を図ります。

また、本講座は、がんの病院治療から在宅治療へのシームレスな移行を考えるきっかけを作る事も目的とし、受講対象は、医師・看護師・薬剤師・医療事務と医療に携わる方々全般ではありますが、特に在宅緩和医療に興味を持つ医師、在宅看護に従事する看護師のご参加もお待ちしております。

- ◆がん薬物療法：福井 久久（臨床腫瘍学講座）
- ◆放射線治療：野宮 琢磨（放射線腫瘍学講座）
- ◆がん治療とがん登録：賈澤 篤（東北大学より）
- ◆在宅緩和ケア：奥山 慎一郎（麻酔科学講座）

## ◆米沢と山大工学部 ―地域と大学の共生―

本講義は、主として本学部の1年生向けに開講します。米沢になぜ工学部があり、地域とどのように結びついて発展してきたのかを知り、また、東日本大震災により工学の役割の重要性が増した現在、将来の技術者としての自覚を高めてもらおうというねらいです。米沢と山大工学部の「絆」を確かめ、地域と大学の将来を市民の皆様と考えていこうと、学園都市推進協議会が例年開催している「まちなかカレッジ」の一環と位置づけ、本講義を一般の方々にも開放することといたしました。



## ◆これからのエネルギー社会について

世界的な人口増加や経済成長とともに、エネルギー需要やそれに伴うCO<sub>2</sub>の排出量は年々増加を続けており、地球環境にも大きな影響を及ぼしています。そのため従来の化石燃料にかわり、太陽光など自然の恵みを利用した再生可能エネルギーに対する期待が高まっています。また、多様化したエネルギー源を有効的に活用するために一時的にエネルギーを蓄えるための蓄電技術と、エネルギー消費を抑えた省エネルギー型科学技術の創製もますます重要な役割を担っています。

今後も私たちが快適に暮らすことができる「これからのエネルギー社会について」、その実現に向けた取り組み例をご紹介します。

## ◆やわらかなコンピューティング ～見る, 聞く, 訳す, 使う～

情報は人を離れてはあり得ません。難解な計算も莫大なデータ処理もみんな、人がそこに価値を見出すから行われることです。そもそも生き物は、環境から生きるために必要な情報を取り出し、仲間とそれを分かち合い、そして営みの中にそれを使って来ました。この講座では、人にとって最も素朴で大切な4つの情報科学の話題を取り上げました。それぞれの専門家が分かり易く紹介します。きっと、今まで気が付かなかった人の情報処理の素晴らしさと、それを情報技術で役立てることの大切さをご理解されることと存じます。

- (1) 見る：山内 泰樹
- (2) 聞く：小坂 哲夫
- (3) 訳す：横山 晶一
- (4) 使う：野本 弘平

## ◆身近な生物を探る ―土・微生物・植物の世界―

主要な農作物の穀類、野菜、果物、花等は全て植物であり、人間にとって必要不可欠のものとなっています。植物機能開発学コースは作物や有用な機能を持つ植物資源、未利用資源を対象とし、それらが持つ有用機能の解明とその利用方法の開発、有用資源の探索や改良および利用技術の開発に関する教育・研究を分子レベルから細胞・個体レベルまで幅広く行っています。

本講座では6つの専門分野がそれぞれ「ダダチャマメ」、「有機栽培」、「コムギ」、「ベニバナ」、「切り花」、「カブと焼き畑」、「菌根菌」、「キノコ」、「土」、「微生物」など身近な生物や作物、またはそれらに関する事項をテーマとして挙げ、最新情報を含めて紹介します。



## ◆学校保健に関連しての話題提供

麻疹やインフルエンザなどの学校感染症への対応、過体重・肥満の生徒の増加、女子生徒への子宮頸がん予防ワクチン接種の啓発、発達障害生徒への支援、震災後のこのころの傷への支援など、学校保健に関する問題点は、山積しています。小・中・高等学校、大学におけるこころと体の健康保持・増進のため、保健管理センターでは、「学校保健に関連しての話題提供」を行い、学校の現場で問題となっていることを整理し、解決策をアドバイスする目的で、公開講座を実施いたします。

## ◆掛軸のい・ろ・は -Part 2-

昨年度開催された公開講座「掛軸のい・ろ・は」は予想を超える反響を呼び、定員を超える受講者を集めることとなりました。受講者の方々からは「軸物」そして「表装」の世界の奥深さと可能性に、第二弾の企画を求める声が相次ぎ、実演・実技を含めたこのような公開講座の企画が少なかったことにあらためて気づかされました。

そこで平成24年度は受講者の方々のご要望にお応えし、引き続き「掛軸のい・ろ・は -Part 2-」を開催いたします。「軸装」された作品の魅力、作者と画題の関わり、そして大好評だった表装の実技を本学教員、市内のベテラン表具師の方を講師に迎えご紹介いただきます。様々な角度から眺めることで「掛軸」の鑑賞の仕方や楽しみ方が深まるような内容を企画しています。

リピーターの方も、今回が初めての方も、題材と紙と布が融合した芸術「掛軸・表装」の世界を充分にご堪能ください。

## ◆石に刻まれた日本の歴史

—山形大学小白川図書館所蔵・石碑拓本の世界—

小白川図書館には、戦前の教育用掛図や石碑の拓本など、貴重な資料が数多く残されています。昨年発見された広開土王碑拓本が、大きな話題を呼んだことは記憶に新しい。

小白川図書館では、今年度も広開土王碑拓本をはじめとする石碑の拓本を広く公開する特別展示を行い、それに合わせて、それらの石碑にまつわるこれまでの研究やさまざまなエピソードを紹介する公開講座を実施します。幾たびもの風雪に耐えて今も屹立する石碑。その石碑は私たちに何を語ろうとしているのか。石に刻まれた一文字一文字から、私たちは何を読み取ることができるのか。小白川図書館所蔵の石碑拓本を通じて、日本の歴史を考えてみようというのが、この講座のねらいです。

【講座予定】 講師：人文学部三上喜孝准教授

- 第1回：物部守屋はなぜ顕彰されたか  
〈山形市千歳山の「物部守屋大連之碑」：拓本〉  
芭蕉が見た「つぼのいしづみ」〈「多賀城碑」：拓本〉
- 第2回：東アジアの中の広開土王碑  
〈「高句麗広開土王碑」：拓本〉



## ◆親子わくわくワークショップ

附属小学校教員が、専門性や個性を発揮しながら、体験の楽しさを味わえるワークショップを開催します。

【予定ワークショップ】：「親子でバルーンエクササイズ」  
：「親子でなわとびエクササイズ」

## ◆親子で楽しむ秋の星座

附属中学校六稜ホールプラネタリウムで夏・秋の星座や銀河系を見たり、天体望遠鏡を用いた星座の観察と神話等の説明から宇宙のロマンを実感して秋の星座の楽しみ方を学びます。

【講師】：柴田晋平先生(山形大学教授)  
：NPO小さな天文学者の会

## ◆すこやか広場

幼児期は、人格形成においてとても大切な時期です。豊かな遊びを体験し、周囲の温かい愛情と支援を受けて健やかに成長していきます。本講座では3回シリーズで幼児期の子育てについて楽しく学んでいきます。

【講師】：大学教員および附属幼稚園教員  
第1回：「お友達、こんにちは!～子育てを楽しもう～」  
第2回：「親子でべたべた、まぜまぜしよう」  
第3回：「お兄さんお姉さんといっしょに遊ぼう」

## 子ども向けプログラム

◆日本学術振興会プログラム  
ひらめき☆ときめきサイエンス  
～ようこそ大学の研究室へ～

親子で楽しむ動物学  
—覗いてみよう、身近でつづく動物のいとなみ—

小学生を対象とした生物実験講座です。イモリの産卵、プラナリアの行動、モンシロチョウの羽化をとりあげます。夏休みの1日を楽しく過ごしましょう。8月5日(日)にSCITA(サイタ)センターで実施します。



詳細は理学部HP  
●<http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/> をご覧ください。

◆小さな科学者・体験学習会  
「わくわく化学実験ランド」

本格的な実験室を使って、親子で楽しく実験をしてみませんか。振ると色が変わる不思議なボトルや携帯カイロ作り、暗闇で光るアートなど楽しいプログラムが盛りだくさんです。

SCITA(サイタ)センターHP  
●<http://mirai.saita.jp>



◆科学フェスティバル in よねざわ 2012

科学は教室で習うことだけではありません。自分で外に出て「不思議を見つけ出し、なぜだろうと考えて、実際にためてみる」ことが「科学」です。科学フェスティバルでは、様々な科学を体感できるスペースをご用意し「みる」「きく」「あじわう」「さわる」「におう」など、5つの感覚をたくさん使って科学の世界を体感してもらいます。ご家族の皆さんと一緒に楽しみください！



◆森の学校

次代を担う子供達が四季を通じて森林と出会い、森林に興味や関心を抱かせながら、植林・下刈り作業、木工・炭焼き、リース作り、森の探検・秘密基地作り、野生動物観察、積雪観察、かまくら設営・親雪などのプログラムを3回に渡って実施します。



◆農業体験「わんぱく農業クラブ」

小学3～6年生の児童および保護者に、田植えから収穫・稲藁細工まで、年間(5～11月まで月1回開催)を通して農作業全般にわたって体験することにより、生産のおもしろさ・農業の重要性・収穫の喜びを体得してもらう事を目的としています。



【田植え】



【脱穀】

◆収穫体験「大学農場に行こう」

幼稚園や保育園の園児等を対象に、農作物(栗・リンゴ等)の収穫および家畜(牛・羊等)の見学を行うことにより子供たちに小さい頃から収穫の喜びや農業に対する興味を持たせ、環境保全教育の底上げを図る事を目的としています。

◆山形県産業科学館「発明工房」  
小さな科学者・体験学習会「光の不思議」

簡単な実験や工作をしながら、普段何気なく見ている「光」を様々な角度から体験し、光の不思議に触れていただきます。特に、光を用いた化学手品は、子どもたちだけではなく、保護者の方々にも楽しんでいただけます。



◆その他の大学開放プログラム

◆第10回山形大学と高等学校の数学教員の研究交流会

数学教育に関する講演・討論などを行います。  
(詳しい内容は、今後協議いたします。過去の内容については、数理科学科高大連携会議ホームページをご覧ください。写真もあります)



●<http://ksmath.kj.yamagata-u.ac.jp/~m-one/high.html>

◆教師未来塾

未来の教師を目指す学生及び小・中・高の教員のために、ベテランの現職教員または元教員が講師として教育について講演を行い、その後に出席者と討論を行う企画です。平成23年度の内容については、数理科学科ホームページの「教師未来塾」をご覧ください。



●<http://ksmath.kj.yamagata-u.ac.jp/~m-one/mirai.html>

◆サイエンスサマースクール in やまがた

サイエンスの先端に挑んでいる大学の研究者と一緒にあって、少人数で楽しくサイエンスに取り組んでみませんか？  
大学生や大学院生の丁寧なサポートもありますから、大学生活のことも気軽に尋ねてみましょう。



### ◆街角で月を

望遠鏡を使って迫力ある月面を観察します。土星も観察できます。その他当日見える天体をご覧ください。当日は街中ということもあり「星空案内」というよりは、多くの方々に「望遠鏡をのぞいて」いただこうと思っています。

**[M45 プレアデス星団]**



**[M27 あれい状星雲]**



### ◆金環日食の楽しみ方 ～安全に楽しく～

5月21日(月)に金環日食がおり、山形市では約90%まで欠けます。金環日食を迎える前の4月21日及び5月12日に金環日食の観察の仕方について、わかりやすく説明します。安全な観察の仕方を学んでみませんか？



## 一般公開施設

### ◆やまがた天文台

小学生以上の方を対象として、毎週土曜日に「星空案内人®」が星空ガイドツアーをします。

星空案内は、天候に関わりなく行っていますので、雨の日でも大丈夫！綺麗な星空を楽しく観察しませんか？



### ◆4次元宇宙シアター

眼前に繰り広げられるフルカラー立体映像が、あなたを宇宙空間に連れ出します。手でつかめそうな星々が眼前に現れたり、火星の山や谷の間をぬって宇宙旅行する気分も味わえます。



●<http://astr-www.kj.yamagata-u.ac.jp/yao/4d/index.html>

### ◆山形大学SCITAセンターへ Let's Enjoy Science

#### 【SCITA(サイタ)センターとは?】

小学生から大人まで、全県民を対象に開催する体験型の科学実験教室プログラムが提供できる施設であり、実験室・ミーティングスペース・準備室が整備されています。理科実験キット、サイエンス関係の図書(貸出し可)やDVDもあります。ぜひご利用ください。

【収容人数】 実験室 60名 / ミーティング室 30名

### ◆附属博物館

附属博物館は人文科学・自然科学両分野の資料を有する総合博物館ですが、特に歴史・民族資料が充実し、近世地方文書を中心とした古文書資料も3万点近く整理、所蔵しております。常設展示・古文書資料とも一般公開しておりますので、ご利用ください。常設展示のほかにも、公開講座の開設、特別展の開催等も行っています。

- 博物館の詳細はホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/>
- 休館日：土・日・祝日・年末年始

### ◆附属図書館

各キャンパスの図書館(4館)では以下のサービスをご利用できます。

- ・蔵書の閲覧
- ・館外への貸出し(県内在住または県内へ通勤・通学される方)
- ・館内所蔵資料の文献複写(有料セルフコピー)
- ・レファレンスサービス(各種調査へのサポートです)
- ・視聴覚資料・CD-ROM等の利用
- ・各館等から文献コピーの取り寄せ(有料)
- ・図書検索パソコンの利用
- 休館日は年末年始、学生休業期の土・日・祝日です。
- ほかに臨時休館する場合がございます。
- 詳細は各館へお問い合わせください。
- 図書館ホームページ <http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/>

#### 【農学部図書館閲覧室】



# アクセスマップ

## 小白川キャンパス



事務局・人文学部・地域教育文化学部・理学部・  
小白川図書館・附属博物館・情報ネットワークセンター・  
学生センター・SCITAセンター

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12(JR山形駅から東方へ約2km)

- JR山形駅前から小白川キャンパスを約8分で結ぶ  
山形大学専用シャトルバス運行中
- JR山形駅前から県庁行きバスで「山形南高校前(山大入口)」下車、  
そこから徒歩5分
- JR山形駅前から徒歩(約20分)

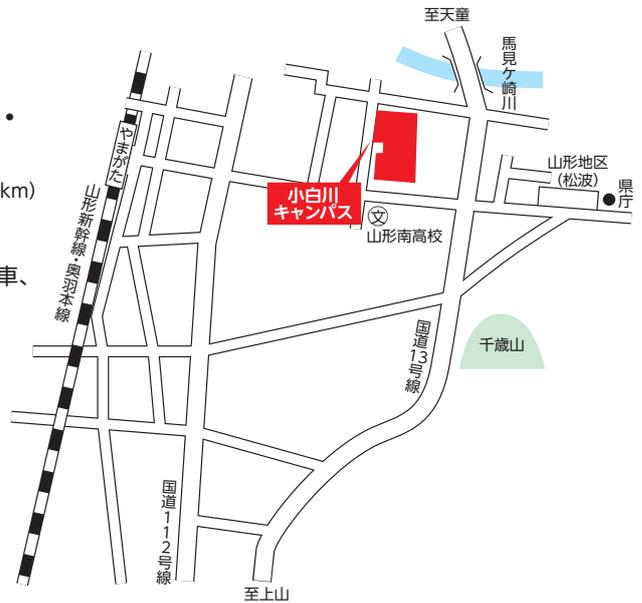
### 【山形大学専用シャトルバス】

山形駅前～小白川キャンパス間運行  
(土・日・祝日および学生休業期間は運行しません)

乗り場：山形駅前バスロータリー 3番バス停

料金：片道 100円

利用方法：山形駅前から乗車の場合は、小白川キャンパスで降車後イン  
フォメーションセンター前の券売機で利用券を購入し、券売機に備  
え付けの回収箱に入れて下さい。小白川キャンパスより乗車の場合  
は、利用券を購入の上ご乗車ください。(現金は取り扱っておりません)  
時刻表は山形大学ホームページよりご確認ください。



## 飯田キャンパス



医学部・医学部附属病院・遺伝子実験施設・  
附属特別支援学校

〒990-9585  
山形市飯田西二丁目2-2  
(JR山形駅から南方へ約5km)

- JR山形駅前から南栄町経由東海大山形高・  
大学病院行きバス(約15分)で「大学病院」下車。



## 松波地区



附属小学校・中学校・幼稚園

〒990-0023  
山形市松波2丁目7番

- JR山形駅よりバス県庁行きバス(約10分)で  
「附属学校前」下車
- 山形自動車道 山形蔵王I.C.より車で約3分



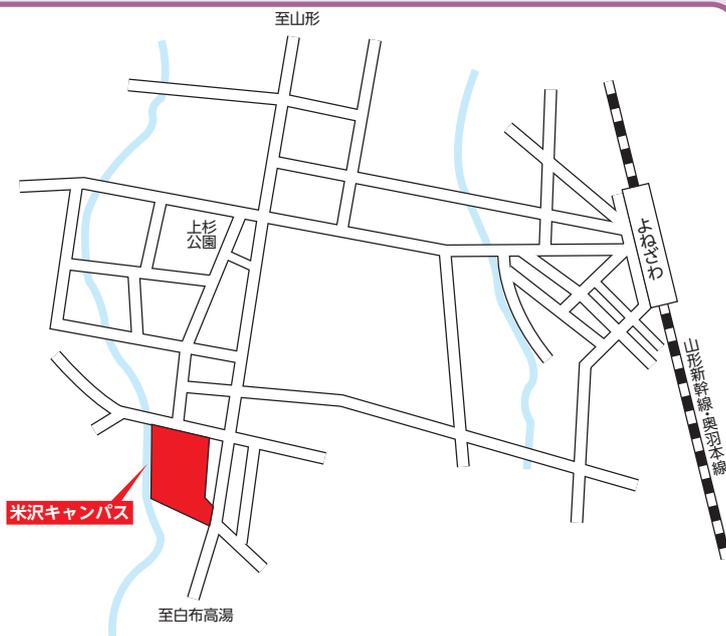
## 米沢キャンパス



### 工学部・国際事業化研究センター

〒992-8510  
米沢市城南四丁目3-16  
(JR米沢駅から南西へ約2.8km)

- JR米沢駅前から白布温泉行きバス(約10分)で「城南二丁目」下車、そこから徒歩3分。
- JR米沢駅前から市街地循環バス右回り(青色のバス)(約10分)で「山大正門前」下車。
- JR米坂線南米沢駅前から徒歩(約5分)



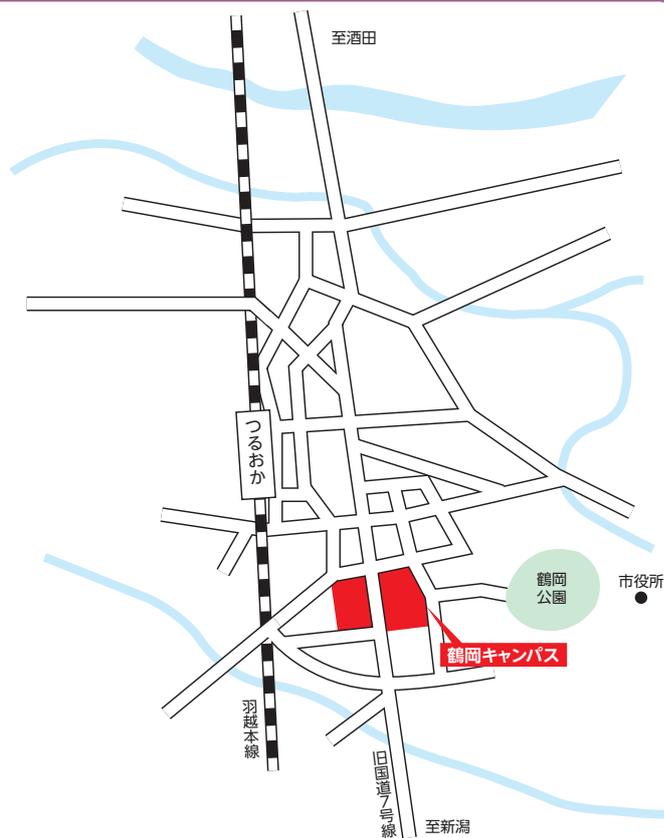
## 鶴岡キャンパス



### 農学部

〒997-8555  
鶴岡市若葉町1-23  
(JR鶴岡駅から南西へ約1.5km)

- JR鶴岡駅前から徒歩(約15分)
- 山形駅から鶴岡駅までの所要時間はバス約120分、JR約150分



# お問い合わせ先

(問い合わせ先No. は講座一覧の右端に記載されています)

No	担 当	電話番号
1	人文学部事務室	023-628-4203
2	地域教育文化学部事務室	023-628-4304
3	理学部事務室	023-628-4505
4	SCITA(サイタ)センター	023-628-4506
5	①理学部数理科学科 佐藤(圓)研究室 ②山形県立鶴岡北高等学校 植松弥公	①023-628-4529 ②0235-22-2262(TEL) 0235-24-6101(FAX)
6	①理学部数理科学科 佐藤(圓)研究室 ②勝見英一朗(理学部数理科学科非常勤講師)	①023-628-4529 ②E-mail: katsumi@yit.ac.jp
7	①柴田研究室 ②理学部事務室	①023-628-4552 ②023-628-4505
8	①インフォメーションセンター(10:00~16:00) ②理学部事務室	①023-628-4050 ②023-628-4505
9	医学部総務課庶務担当	023-628-5006
10	医学部図書館	023-628-5054
11	工学部広報室	0238-26-3419
12	工学部図書館	0238-26-3019
13	科学フェスティバル実行委員会総務担当(工学部内)	0238-26-3002
14	農学部企画広報室	0235-28-2911
15	農学部事務室附属施設担当	0235-24-2278
16	農学部図書館	0235-28-2810
17	小白川図書館	023-628-4914
18	附属博物館	023-628-4930
19	保健管理センター事務室	023-628-4153
20	附属小学校	023-641-4443
21	附属中学校	023-641-4440
22	附属幼稚園	023-641-4446
23	山形県産業科学館(霞城セントラル内)	023-647-0771
24	米沢市役所総合政策課地域振興担当	0238-22-5111(内2803)

## 山形大学企画部研究支援課

〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12

TEL 023(628)4845・4846 FAX 023(628)4849

E-mail: k-kenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

リサイクル適性<sup>®</sup>(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。